



人と地域が輝く 田園交流都市を目指して…

21世紀に入り社会を取り巻く環境は、地方分権が進展する中、急速な少子高齢化や人口減少、さらに地球温暖化などの環境問題に加え、地域経済や景気の低迷、雇用不安など、社会全体の構造的な危機に直面し、市民の多様化する価値観やニーズに対応することは、大変難しい状況にあります。

また、生活の利便性や物質的な充足だけでなく、生活の質やゆとり、精神的な満足感など、「心の豊かさ」を求める動きが高まってきており、日常生活においては、スピードや効率性のみを重視する生活や働き方を見直そうという考え方が注目されるようになってきています。

一方、国際的にはグローバリズムが進展し、「人・モノ・カネ・情報」が世界的規模で行き交い、新しい時代の潮流を感じるとともに、国内においては800万人を超える団塊世代の大量退職の下、国で進めている観光立国推進の機運や、国内外における観光ブームの高まりなどにより、いよいよ我が国は「大交流時代」を迎えたように思います。

こうした中で本市においては、東北有数の大河である阿武隈川や、環境保全地域の指定を受けている深山や斗蔵山などの恵まれた自然環境、また国指定重要文化財の高蔵寺・旧佐藤家住宅などの貴重な歴史資源を有するとともに、安全でおいしい豊富な農畜産物、角田中央公園に立地する多彩なスポーツ・レクリエーション施設、さらに宇宙航空研究開発機構（JAXA）角田宇宙センターなど、様々な地域資源を数多く有しており、交流人口や定住人口の拡大に大きな可能性を秘めています。

新しい時代を迎える今、多様な人々の「交流」により都市の活力を高め、交流人口を増やしていくまちづくりが求められていることから、今般、本市の新たな都市像を「人と地域が輝く田園交流都市 かくだ」と定め、新たなまちづくりに取り組んでいくことにいたしました。

そのためのまちづくりの基本指針として、市民力や地域力を最大限に活かし、市民と行政の協働の理念の下、これからの10年間を見通した新たな長期総合計画を策定いたしました。

第5次長期総合計画の策定にあたり、貴重なご意見やご提言をいただきました市民の皆様をはじめ、ご審議をわずらわした長期総合計画審議会委員、各事業所や市内中学校、各種関係者・団体等の皆様に心から感謝を申し上げますとともに、これからの市政発展のためにより一層のご指導、ご助言を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年(2011年)3月

角田市長 大友喜助